

アイモビーグの
投与を受ける患者さんへ
アイモビーグの副作用について

アイモビーグによる治療中にご注意いただく

主な副作用、その他の注意が必要な副作用について

1. 主な副作用

- アイモビーグの国内臨床試験※において、よくみられた副作用（発現頻度1%以上）は、注射部位反応（2.9%）、便秘（1.9%）、傾眠（1.1%）です。

※アイモビーグ70mgを投与した片頭痛患者さんにおける安全性の結果

1. 注射部位反応

注射した部位に、赤み、かゆみ、痛み、腫れなどの症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、医師・薬剤師に相談してください。

2. 便秘

便秘の症状があらわれることがあります。症状が回復しないまたは悪化する場合には医師・薬剤師に相談してください。（→次ページ「重篤な便秘」の記載をご参照ください）

3. 傾眠

投与後に眠くなる場合があります。車の運転や機械の操作、高所での作業などを行う場合は十分注意してください。

2. その他の注意が必要な副作用

- アイモビーグを投与した患者さんに血圧の上昇や高血圧の悪化がみられる場合があります。血圧の上昇に注意してください。

きたい副作用についてご紹介します。

特にご注意いただきたい副作用について

1. 重篤な過敏症反応

- 次のような症状があらわれた場合は、次の受診日を待たずに医師・薬剤師に連絡して、すみやかに医療機関を受診してください。

部位	自覚症状
全身	寒気、ふらつき、汗をかく、発熱
頭部	意識の低下
顔面	唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる
口や喉	喉がつかまる感じ、声が出にくい、喉のかゆみ、口唇周囲のはれ
胸部	息苦しい、動悸
皮膚	発疹、全身のかゆみ、かゆみ、じんま疹

- 注射後数分以内にあらわれる可能性があります。注射後1週間以上経過してから発現することもありますので、ご注意ください。

2. 重篤な便秘

- 腸閉塞や腸に便の塊ができるなどの重篤な合併症を伴う便秘が起こることがあります。次のような症状があらわれた場合は、医師・薬剤師に連絡して、すみやかに医療機関を受診してください。

部位	自覚症状
口や喉	吐き気、嘔吐
腹部	お腹が張る、腹痛
便	便秘が回復しないまたは悪化する

- このような便秘の多くは、初回のアイモビーグの投与後にみられています。
- 以下の患者さんは、発現しやすくなるおそれがあるため特に注意してください。

- 便秘の経験がある患者さん
- 胃腸の運動低下を伴うお薬を使用中の患者さん

アイモビーグの自己投与の際には 以下の点にご注意をお願いいたします。

- 自己投与を実施される際には、以下の点に注意してください。
 1. **自己投与を開始される際**には、患者さんが、主治医から十分な説明を受けた後に、医療従事者の指導のもと、注射方法を練習する必要があります。
 2. **自己投与開始後**、アイモビーグによる副作用が疑われる場合や、自己投与の継続が困難な状況となる可能性がある場合には、直ちに自己投与を中止していただき、医療機関を受診してください。
 3. **使用済みの注射器**は再度使用しないでください。必ず医師に指示された廃棄方法に従って廃棄をお願いします。

この冊子でご紹介した内容のほか、
気になる症状があらわれた場合には、
医師、薬剤師または看護師にすぐに連絡してください。

医療機関名／連絡先